

# 農山漁村地域整備計画における事後評価

## 【整備計画の概要】

計画の名称	「第2期 かがしま薩摩・大隅地域 食と農の基盤づくり」計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	鹿児島市、いちき串木野市、日置市、枕崎市、指宿市、南さつま市、南九州市、薩摩川内市、さつま町、阿久根市、出水市、長島町、霧島市、姶良市、湧水町、伊佐市、鹿屋市、垂水市、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町、曾於市、志布志市、大崎町
計画の期間	平成27年度～令和元年度(5年間)

## 【整備計画の目標の実現状況等】

### 1 交付対象事業の進捗状況

整備計画に位置づけた201地区を実施した結果、令和元年度までに126地区の事業が完了した。

### 2 事業効果の発現状況

- 農地の大区画化や用排水施設などの農業生産基盤が整備され、優良な農地や農業用水が確保された
- 農業水利施設や集落排水施設のストックマネジメントを推進したことにより、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減が図られた
- ため池や排水路、降灰被害防止施設等を整備し、農村地域の防災減災対策が図られた
- 草地造成等の飼料基盤整備により自給飼料の確保が図られるとともに、畜産リサイクルシステムを構築するため、家畜排せつ処理施設等を整備し、畜産経営に起因する環境汚染対策が図られた。

### 3 成果目標の目標値の実現状況

項目	単位	目標値	実績値	
整備対象地区における担い手への農地集積面積の増加	ha	350	363	2,132ha の農地に対する灌漑及び排水路整備, 621ha の農用地に対する大区画化, 178haの農地に対する土層改良等を行うことにより、整備対象地区における担い手への農地集積面積の増加(595ha→958ha)が図られた。
通作稼働時間の短縮	時間	17,800	17,894	1,418ha の農地に対する農道の新設、改良による通作条件の確保・改善を行うことにより、通作稼働時間の短縮(23,598時間→5,704時間)が図られた。
災害のおそれのある農地面積の減少	ha	39	39	ため池、頭首工等の整備を行うことにより、整備対象地区において災害のおそれのある農地面積の減少(39ha→0ha)が図られた。

農村環境への配慮の新たな取組	地域	3	3	既に生活排水が処理されている農業集落3地域の集落排水施設の改築更新による水質の改善が図られた
		14	14	既に生活排水が処理されている農業集落14地域の集落排水施設の更新のための機能診断に着手した
		17	17	既に生活排水が処理されている農業集落17地域の集落排水施設の更新のための最適整備構想を作成した
降灰による農作物の被害を防止する面積の増加	ha	25	26	自然災害に対する防災力強化:「防災営農施設整備計画に定められた地域についてハウス等被覆施設(被覆資材設置)を整備することにより、降灰による農作物の被害を防止する面積が増加(0ha→26ha)した。
点検・診断による長寿命化とライフサイクルコストの低減策の把握	地域	11	11	災害の未然防止や農道の保全対策を図るため、11地域において点検・診断による長寿命化とライフサイクルコストの低減策の把握を行った。
畜産担い手の育成	地域	2	2	畜産主生産地を形成するため2地域についての調査及び計画策定による飼料基盤整備・施設整備方針の検討を行った。
	地域	4	4	畜産主生産地形成するため、4地域について飼料基盤整備・施設整備を行った(飼料畑等造成整備20.8ha)
	ha	20.8	20.8	
畜産のリサイクルシステムの構築	地域	3	3	3地域についての調査及び計画策定による家畜排せつ物等地域資源リサイクルシステムの構築のための方針の検討を行った
		6	6	畜産主産地6地域において家畜排泄物等地域資源リサイクルシステムの構築を目的とした家畜排せつ物処理施設を整備した
海岸保全施設の整備	ha	140	141	141haの農用地を海岸保全施設の整備により高潮等の被害防止を図った。
	地域	16	16	農村地域16地域の海岸保全施設に係る長寿命化計画の策定を策定した。
水利施設の整備	地域	5	5	農村地域5地域の地域用水環境整備による、生活空間の質的向上や低炭素社会づくりの促進及び農業水利施設の維持保全体制を構築した
	地域	16	16	過去にかんがい事業を実施した16地域において、既存水利施設の補修・更新による安定的な用水供給機能の回復を図った。
事業計画の策定率	地域	17	17	農村地域17地域の実施計画策定事業の調査結果を活用した事業計画の策定した。

#### 4 今後の方針

本計画期間内において未完了の地区(75地区)については、3期計画(R2～R6)において、引き続き事業を実施し、事業効果の早期発現に努める。

# 農山漁村地域整備計画における事後評価

## 【整備計画の概要】

計画の名称	「第2期 かがしま離島地域 食と農の基盤づくり」計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	長島町、西之表市、中種子町、南種子町、屋久島町
計画の期間	平成27年度～令和元年度(5年間)

## 【整備計画の目標の実現状況等】

### 1 交付対象事業の進捗状況

整備計画に位置づけた45地区を実施した結果、令和元年度までに29地区の事業が完了した。

### 2 事業効果の発現状況

- 農地の大区画化や用排水施設などの農業生産基盤が整備され、優良な農地や農業用水が確保された
- 農業水利施設や集落排水施設のストックマネジメントを推進したことにより、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減が図られた

### 3 成果目標の目標値の実現状況

項目	単位	目標値	実績値	
整備対象地区における担い手への農地集積面積の増加	ha	4	4.5	227ha の農地に対する灌漑及び排水路整備、82ha の農用地に対する大区画化、158haの農地に対する土層改良等を行うことにより、整備対象地区における担い手への農地集積面積の増加(18.4ha→22.9ha)が図られた。
通作稼働時間の短縮	時間	2,800	2,838	512ha の農地に対する農道の新設、改良による通作条件の確保・改善を行うことにより、通作稼働時間の短縮(8,507時間→5,669時間)が図られた。

農村環境への配慮の新たな取組	地域	1	1	既に生活排水が処理されている農業集落1地域の集落排水施設の改築更新による水質の改善が図られた
水利施設の整備	地域	4	5	過去にかんがい事業を実施した5地域において、既存水利施設の補修・更新による安定的な用水供給機能の回復を図った。
点検・診断による長寿命化とライフサイクルコストの低減策の把握	地域	5	7	災害の未然防止や農道の保全対策を図るため、7地域において点検・診断による長寿命化とライフサイクルコストの低減策の把握した。
海岸保全施設の整備	地域	2	2	農村地域2地域の海岸保全施設に係る長寿命化計画の策定を策定した。
事業計画の策定率	地域	5	5	農村地域5地域の実施計画策定事業の調査結果を活用した事業計画の策定した。

#### 4 今後の方針

本計画期間内において未完了の地区(16地区)については、3期計画(R2~R6)において、引き続き事業を実施し、事業効果の早期発現に努める。

# 農山漁村地域整備計画における事後評価

## 【整備計画の概要】

計画の名称	「第2期 かがしま奄美地域 食と農の基盤づくり」計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、伊仙町、天城町、和泊町、知名町、与論町
計画の期間	平成27年度～令和元年度(5年間)

## 【整備計画の目標の実現状況等】

### 1 交付対象事業の進捗状況

整備計画に位置づけた101地区を実施した結果、令和元年度までに68地区の事業が完了した。

### 2 事業効果の発現状況

- 農地の大区画化や用排水施設などの農業生産基盤が整備され、優良な農地や農業用水が確保された
- 農業水利施設や集落排水施設のストックマネジメントを推進したことにより、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減が図られた

### 3 成果目標の目標値の実現状況

項目	単位	目標値	実績値	
整備対象地区における担い手への農地集積面積の増加	ha	12	11.9	402ha の農地に対する灌漑及び排水路整備、251ha の農用地に対する大区画化、488haの農地に対する土層改良等を行うことにより、整備対象地区における担い手への農地集積面積の増加(80.8ha→92.7ha)が図られた。
通作稼働時間の短縮	時間	2,100	2,179	414ha の農地に対する農道の新設、改良による通作条件の確保・改善を行うことにより、通作稼働時間の短縮(4,473時間→2,294時間)が図られた。

農村環境への配慮の新たな取組	地域	2	2	既に生活排水が処理されている農業集落2地域の集落排水施設の改築更新による水質の改善が図られた
		16	16	既に生活排水が処理されている農業集落16地域の集落排水施設の更新のための機能診断に着手した
		13	13	既に生活排水が処理されている農業集落13地域の集落排水施設の更新のための最適整備構想を作成した
水利施設の整備	地域	2	2	過去にかんがい事業を実施した2地域において、既存水利施設の補修・更新による安定的な用水供給機能の回復を図った。
海岸保全施設の整備	地域	19	19	農村地域19地域の海岸保全施設に係る長寿命化計画の策定を策定した。
点検・診断による長寿命化とライフサイクルコストの低減策の把握	地域	3	4	災害の未然防止や農道の保全対策を図るため、4地域において点検・診断による長寿命化とライフサイクルコストの低減策の把握を行った。
事業計画の策定率	地域	13	13	農村地域13地域の実施計画策定事業の調査結果を活用した事業計画の策定した。

#### 4 今後の方針

本計画期間内において未完了の地区(33地区)については、3期計画(R2～R6)において、引き続き事業を実施し、事業効果の早期発現に努める。